

01 はじめに

“ERPは高い” “ERP導入には莫大な費用がかかる”

ERPについて少しでも調べたことがあるなら、何となくそのようなイメージを持っている人も多いのではないのでしょうか。

“参考：[【わかりやすい！】ERPとは？基本から種類・選び方まで徹底解説！](#)”

たしかにERPの導入に必要な、サーバー等のハードウェア費用、ソフトウェアのライセンス費用、導入に係るサポート費用等を合わせると億単位の投資となることも・・・。

また、昨今ではIFSを含むクラウド型のERPを提供することで、企業規模や使用するユーザー数に合わせ費用を最適化できるようなサブスクリプションモデルの料金体系を持つERPも増えてきていますが、依然としてある程度の出費が必要なことに変わりありません。

そこで今回の記事では導入にかかる費用をいかに抑えるかについて解説していきたいと思います。

なお具体的な金額については、導入規模やパッケージによって大きく異なるため、本稿での言及は避けさせていただきます。

02 導入費用の構成

下記はERPパッケージ導入にかかる費用を大まかに分類し、その構成比率を示したものになります。

項目	詳細	構成比	例
ハードウェア	サーバー(*)・パソコン等	10～20%	10%
ライセンス	ソフトウェアライセンス	15～25%	20%
導入サポート	導入時のサポートやコンサルティング・プロジェクト管理	45～60%	50%
カスタマイズ	追加機能の開発費	10～40%	15%
トレーニング	社内ユーザーへの教育	5～10%	5%
合計			100%

(*)クラウド型の場合はライセンスに含まれる場合もある

02 導入費用の構成

【ポイント】

- システムに関する費用（ライセンス・ハードウェア） < 人件費（導入時のサポートやカスタマイズによる開発）

【通常】 システム費 1 : 人件費 2

⚠ 導入企業側の体制にもよりますが、プロジェクト期間やカスタマイズの件数・他システムのインターフェース数によっては1 : 3や1 : 4になることも！！

- 費用を抑えるポイントは**導入サポート費とカスタマイズ費の抑制**にあり

03 導入費用を抑えるための2つのキーワード

では、具体的にどのようにして導入費用の抑制を実現するのか。
ポイントを以下のキーワードをもとに解説していきます。

1. Fit率

ERPの機能が自社の業務にどの程度適合しているか照らし合わせること

2. 教育

自社のプロジェクトメンバーへの教育

03 導入費用を抑えるための2つのキーワード

1. Fit率

【ERP導入検討の際のポイント】

- ライセンス費用はいくらか
- 導入事例はどのくらいあるのか
- ベンダーのサポート体制はどうか
- 国産なのか海外製なのか
- どんな機能があるのか、また機能が自社の業務にどの程度、マッチしているか**



Fit率

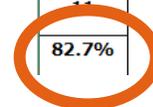
03

導入費用を抑えるための2つのキーワード

1. Fit率

以下の表は、実際に弊社が提案依頼を受けたRFI（情報提供依頼書）の一部になります。
200項目を超える要件のうち、弊社が提供するIFS ApplicationsのFit率は**82.7%**でした。

大分類	中分類	小分類	優先度	項番	IFS	大分類	中分類	小分類	優先度	項番	IFS		
生産管理	製造指図	海外仕入品	2	1	○	管理会計	予算管理/標準原価積上	価格設定	1	1	○		
		製造指図管理	1	1	○			標準原価積上	1	1	○		
			1	2	○			標準原価適用処理	1	1	○		
			1	3	○			個別原価管理	1	1	○		
			1	4	○			販売予算管理	1	1	○		
			1	1	○			セグメント管理	1	1	○		
		みなし出庫 (バックフラッシュ)	1	1	○			月次処理	製造付替/配賦処理	1	1	○	
		仕損管理	1	2	○				実績活動価格計算および再評価	2	1	△	
			1	1	○				プロジェクト案件別製品原価結果分析	1	1	○	
		生産実績報告	歩留 (完成数量) 報告	1	1				○	決済処理	1	1	○
				1	2				△	原価差異調整	1	1	○
		1	3	○	中間決算			会計期間ロック	1	1	○		
		完成品目入庫	完成品目入庫	1				1	○	中間決算	1	1	△
		ロット管理	ロット登録/割当	1				1	○	日次連絡帳票	2	1	×
			ロット属性	1				1	○				
シリアル番号管理	シリアル番号登録/割当	1	1	○									
	シリアル番号追跡	1	1	○									
期末処理	製造原価	1	1	○									
	製造指図処理	1	1	○									
販売管理	受注	共通	1	1	○								
			1	2	△								
			1	3	○								
			1	4	△								
			1	5	△								
			2	6	○								
		個別受注生産受注	1	1	○								
			1	2	○								
			1	3	○								
			1	1	○								
			1	2	○								
		特殊仕様あり個別受注生産	1	1	○								
			1	2	○								
							229						
							37						
					11								
					82.7%								



※参考情報になります

03 導入費用を抑えるための2つのキーワード

1. Fit率

【Fit率が高いことのメリットとは？】

- 導入後の使用イメージと現状の業務とのギャップが少ない
- カスタマイズ数が減る = ERPの標準機能を多く使える（費用の抑制が可能）
- 導入期間・導入コストが抑制できる

Fit率は80%以上・最低でも70%以上のソリューションを候補に選定

03 導入費用を抑えるための2つのキーワード

1. Fit率

【課題】 どのERPもFit率が低いんだけどどうすれば・・・？



【解決案】 自社の業務をERPに合わせることができるか見直してみましよう

企業のコアバリューに影響しない業務領域にもレガシーシステムが根付いていて業務改革が進まないケースも多々あります。
(Excel管理・マクロ管理)

- 現状の業務に変更できる部分はないか
- ERPに合わせることで最適化できる業務はないか

03 導入費用を抑えるための2つのキーワード

2.教育

P3でも解説しましたが、ERP導入の費用内訳に「トレーニング費」があります。

項目	詳細	構成比	例
ハードウェア	サーバー(*)・パソコン等	10~20%	10%
ライセンス	ソフトウェアライセンス	15~25%	20%
導入サポート	導入時のサポートやコンサルティング・プロジェクト管理	45~60%	50%
カスタマイズ	追加機能の開発費	10~40%	15%
トレーニング	社内ユーザーへの教育	5~10%	5%
合計			100%

03 導入費用を抑えるための2つのキーワード

2.教育

【教育が必要な2つの理由】

- 既存システムが社内の特定の人が管理できない状況
- IT人材の不足により、サポート費が想定以上かかる（市場価格の上昇）

自社プロジェクトメンバーへの教育によって、これまで社外発注していたことが、自社で解決可能＝大幅なコスト削減が実現する！！

04 IFS Applicationsについて

IFS Applications

=世界的ERPベンダーIFS社（本社スウェーデン）の、コンポーネント型グローバルERPパッケージ

【IFS Applicationsが選ばれる理由】

- ✓ 標準機能が充実
- ✓ カスタマイズなしで対応できる業務がほとんど



多数の設備投資とメンテナンスをしながら
「ものづくり」をしていく製造業に特におすすめのERPパッケージ
= IFS Applications



04 IFS Applicationsで解決できること

複雑な生産方式にシステムを対応させるため
カスタマイズだらけに……（保守費がUP）



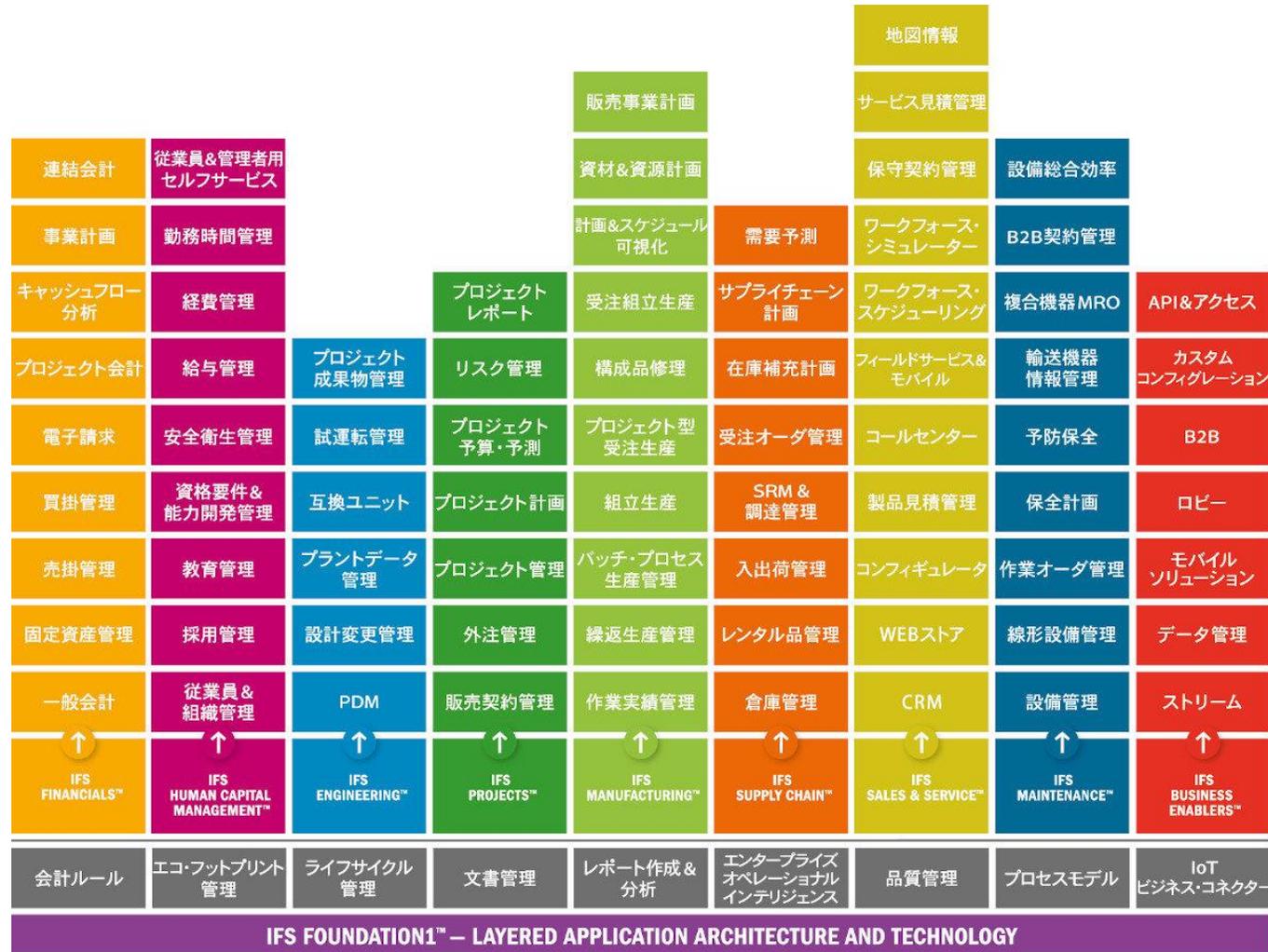
コストを抑えて自社にピッタリの機能を搭載！
何か起こっても、外注せず社内で解決可能に！



04

IFS Applications モジュールタワー

導入時に必要なモジュールだけを選択 = **ビジネスの変化に応じて拡張可能!**



05 ———最適なソリューションを最適なコストで。

チェンシージャパン株式会社（IFSシルバーチャネルパートナー）は、IFS Applicationsの販売・導入・構築・運用までワンストップで提供中です。

ERP導入を検討している企業に対し、革新的なソリューションをご提案し、お客様の企業価値を最大化することを目指しています。

コストを抑えてERPを導入したい、現システムの保守に悩んでいる方に向けて、専門コンサルタントによる無料相談会を実施しております。ぜひお気軽にお問い合わせください。



[お問い合わせはこちら](#)